

Information

日本小児看護学会第33回 学術集会(現地+Web開催)

日時▶[現地] 7月15日(土)~16日(日),
[オンデマンド] 7月20日(木)~8月20日(日)(予定)

会場▶パシフィコ横浜(横浜市)

テーマ▶子どもたちの未来を見据え、今やるべきこと

プログラム▶会長講演/特別講演①「未来の子どものウェルビーイング」ドミニク・チェン(早稲田大学)/②「未来の人口統計と世界予測, 統計から考える未来」林玲子(国立社会保障・人口問題研究所)/教育講演①「子どもの発達の可能性と初期の相互作用」辻晶(東京大学)/②「医療的ケアがあっても安心できるインクルーシブ社会を目指して」内多勝康(国立成育医療研究センター)/シンポジウム①「広がれ, 子どもの笑顔の場」胡内敦司(厚生労働省)ほか/②「ICTの利活用と小児看護—未来を担う人の育みを考える」小川純子(淑徳大学)ほか/日本老年看護学会合同企画「子どもとお年寄りが醸し出す居場所」柴田三奈子(株式会社ラビオン)ほか/共催セミナー/ランチョンセミナー/テーマセッション/一般演題

参加申込方法▶下記Webサイトの「参加登録」より

参加申込期間▶[前期] 6月16日(金)まで,
[後期] 7月1日(土)~8月20日(日)

参加費▶[前期] 会員1万円, 非会員1万2000円, 学生3000円, [後期] 会員1万2000円, 非会員1万4000円, 学生3000円

問い合わせ先▶運営事務局

〒456-0005 愛知県名古屋市中熱田区池内町3-21 株式会社ユピア内

☎ 052-872-8101(平日10:00~16:00)

FAX 050-3737-7331

✉ jschn33@yupia.net

<https://jschn33.yupia.net/>

日本看護研究学会 第31回北海道地方会 学術集会(現地開催)

日時▶8月5日(土)13:30~16:30(予定)

会場▶日本医療大学大講堂(札幌市)

テーマ▶超高齢・多死時代における看護学教育と看護実践

プログラム▶教育講演「超高齢・多死時代における老年看護学と看護実践の現状と課題」小野幸子(日本医療大学)/一般演題(口演)

参加費▶[事前申込] 会員1000円, 非会員1500円, 学生無料, [当日申込] 会員1500円, 非会員2000円, 学生無料

参加申込方法▶下記Webサイトの「参加登録フォーム」より

事前申込期間▶7月21日(金)まで

問い合わせ先▶学術集会事務局

☎ 011-351-6100

✉ jsnr-h2023@jhu.ac.jp

<https://www.jsnr.or.jp/district/hokkaido/23.html>

日本看護教育学会第32回 学術集会(現地+Web開催)

日時▶[現地] 8月19日(土)12:00~17:00, [オンデマンド] 8月24日(木)~9月6日(水)

会場▶群馬会館(前橋市)

テーマ▶看護職者の可能性を拓く教育と研究

プログラム▶基調講演「看護卒後教育研究への着手と継続—研究指導の質向上を目指して」中山登志子(千葉大学)/シンポジウム「予測困難な時代における看護学教育の現状と課題」金子友香(群馬県立小児医療センター)ほか/演題発表

参加費▶8000円

参加申込方法▶下記Webサイトの「参加申込」より

参加申込期間▶[現地] 8月15日(火)まで,
[オンデマンド] 8月31日(木)まで

問い合わせ先▶第32回学術集会事務局

〒371-0052 群馬県前橋市上沖町323-1

群馬県立県民健康科学大学内

✉ jasne32@yahoo.co.jp

<https://g-regi.jp/jasne32/>

第23回日本感染看護学会 学術集会(Web開催)

日時▶8月26日(土)~27日(日)

テーマ▶特定行為と感染看護実践—特定行為研修制度によって感染看護の実践はどう変わるのか?

プログラム▶会長講演「特定行為と感染看護実践」/特別講演「特定行為も実施しながら地域で暮らす人々の生活を支援する高度実践者の育成」/教育講演「真菌感染症と真菌感染防止対策」/シンポジウム①「特定行為研修修了後の実践の変化」/②「特定行為研修修了者への期待」/口演発表

参加申込方法▶事務局までE-mailで申し込み

参加申込期間▶8月18日(金)まで

参加費▶会員7000円, 非会員8000円, 学生無料

問い合わせ先▶学術集会事務局

〒260-8672 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学大学院看護学研究院内

✉ kansenkango23@outlook.jp

<http://www.jsncic.jp/annai.html>

第61回全国自治体病院学会 (現地開催)

日時▶8月31日(木)~9月1日(金)

会場▶札幌コンベンションセンター(札幌市)

テーマ▶未来に輝け 自治体病院—Mission! 持続可能な地域医療を構築せよ

プログラム▶会長特別講演「医療提供体制改革と自治体病院(仮)」小熊豊(全国自治体病院協議会)/総会シンポジウム①「これからの地域医療をいかに構築するか—課題と展望」田中彰子(厚生労働省)ほか/②「自治体病院の経営強化に向けた取り組み—実践編」松田晋哉(産業医科大)

学)ほか/総会特別講演「自治体病院と『地球の健康, 社会の健康, 人間の健康』」
實金清博(北海道大学)/第60回全国自治体病院学会最優秀演題発表/分科会プログラム

参加申込方法▶下記 Web サイトの「参加登録」より

参加申込期間▶6月30日(金)正午まで

参加費▶[事前参加登録]一般1万2000円,
[当日参加登録]一般1万3000円, 学生無料

問い合わせ先▶運営事務局

〒007-0805 北海道札幌市東区東苗穂5条1丁目6-33 株式会社プランニング・ホッコー内

☎ 011-780-5577

FAX 011-780-5588

✉ 61jmha@ec-ph.jp

<https://www.ec-ph.jp/61jmha/index.html>

第25回日本褥瘡学会 学術集会(現地開催)

日時▶9月1日(金)~2日(土)

会場▶神戸コンベンションセンター(神戸市)

テーマ▶after コロナ時代の褥瘡治療

プログラム▶特別講演①「デジタル活用で広がる地方医療の可能性—リモートでの遠隔医療」森本登志男(キャリアシフト株式会社)/②「一般診療に与える感染症の影響—新型コロナウイルス感染症を振り返って」松本哲哉(国際医療福祉大学)/特別教育講演①「糖尿病や肥満のある高齢者の病態的特徴と治療」松久宗英(徳島大学)/②「在宅療養の場における褥瘡ケア—看護人材育成の立場から」山下留理子(徳島大学)/③「肥満から読み解く高齢者の栄養の問題点とその管理」阪上浩(徳島大学)/特別企画「その時歴史が動いた—日本褥瘡学会25年の歩み」館正弘(東北大学)/理事長講演『「褥瘡」から『じょくそう』へ, 創立25周年を迎えた日本褥瘡学会の課題」館正弘(東北大学)/パネルディスカッション「遠隔診療における現状の課題と将来への展望」石川賀代(HITO

病院)/シンポジウム①「コロナが褥瘡管理をどう変えたのか—after コロナの課題: 病院編」/②「コロナが褥瘡管理をどう変えたのか—after コロナの課題: 在宅医療編」/③「よくわかる! 改訂診療計画書のねらいと適切な対応方法」/④「褥瘡エキスパートが考える DESIGN-R 以外の観察力」/⑤「褥瘡対策チームにおける管理栄養士活動とアウトカム—褥瘡栄養対策ができる管理栄養士活用の実例」/⑥「褥瘡のデブリードマン: up date」/⑦「坐骨部褥瘡のアセスメントと治療を考える」/⑧「悩める褥瘡管理者のあなたへ—管理体制づくりのベストアンサー」/⑨「精神科病院における褥瘡対策のベストプラクティス」

問い合わせ先▶運営事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル 株式会社春恒社コンベンション事業部内

☎ 03-3204-0401

FAX 03-5291-2176

✉ jspsu25@c.shunkosha.com

<https://jspsu25.jp/>

第17回日本慢性看護学会 学術集会(現地+Web開催)

日時▶9月2日(土)~3日(日)

会場▶ステーションコンファレンス川崎(神奈川県川崎市)

テーマ▶「Chronicity」とどうかかわるか…未来の人のために

プログラム▶会長講演『「Chronicity」とどうかかわるか…未来の人のために」米田昭子(山梨県立大学)/基調講演「“今, ここで” 交差する身体感覚—曖昧さ・不確実さととどまるために」高橋寛子(山梨英和大学)/教育講演①「ヒト睡眠・覚醒リズム研究の現在と未来—睡眠のリン酸化仮説から睡眠健診まで」上田泰己(東京大学)/②「病いの慢性性 Chronicity における『オータナティブな(もう一つの)生き方』を考える(仮)」黒江ゆり子(甲南女子大学)/シンポジウム①「未来の慢性看護を担う人への看護教育を創造する」/②「未来の人のために—慢性病とともにある人へ

の看護実践のさらなる可能性を求めて」/③「未来の人のために—慢性看護のケアイノベーションを生み出す研究の可能性を求めて」/ワークショップ「クリニカル・シアターの実例」服部健司(群馬大学)/一般演題/委員会セミナー/ほか

問い合わせ先▶学術集会事務局

〒400-0062 山梨県甲府市池田1-6-1 山梨県立大学看護学部

✉ 2023mansei17@yamanashi-ken.ac.jp
<https://www.mansei17.jp/index.html>

*掲載している情報は5月1日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。